

「スノコ」をペイントして ベランダのリフォーム

快適
ベランダで
おうち菜園を
楽しもう

ベランダが物置スペースになったり、洗濯物を干すだけの殺風景な空間になっていませんか？ 今のベランダを何とかしたいと思っている方へ、スノコをペイントするだけでできるベランダリフォームとおうち菜園作りを紹介しましょう



ペイントに使用した色は、床(パリスダ)、壁面(ワイス+パリスダ少量)、プランター(タンネングリーン)

部屋続きに菜園があると 成功率が断然高くなる

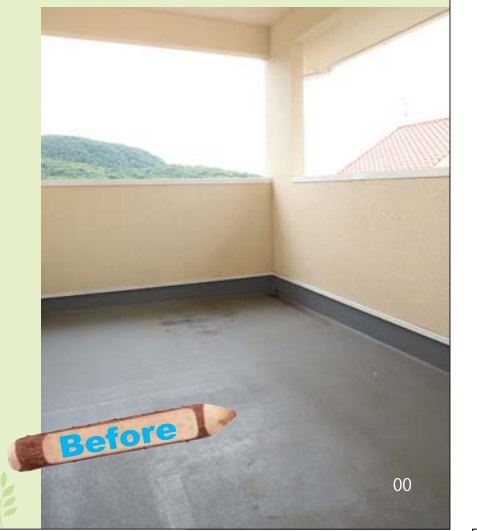
庭や畑がなくても、おうち野菜をつくる方法。それはベランダ活用です。朝起きては様子を見、家事の合間に水やりをしたり肥料を与えたり。ベランダに菜園があれば、部屋続きで動けるので、植物の世話が苦になりません。植物は

手をかけるほど答えてくれます。今から育てるなら、ルッコラ、ミニダイコン、ジャガイモなど秋植えの野菜や、ネギ、レタスなど葉もの常備野菜。夏が終わればニンジンやダイコン、ラディッシュ、コマツナなどの冬野菜が、プランターや鉢植えで育てられます。植物の容器はコンクリートのベランダの床にじかに置くと、暑さや寒

さの影響をもろに受けるので、床面と壁面を木製のスノコを使ってリフォームすれば植物のためにも快適な環境になります。スノコの耐久性を増すため、好みの色でペイントすると見た目もおしゃれで一石二鳥です。

アドバイザー
とぎた 磨田孝一朗さん
クラフトデザイナー。家具や什器製作の他、彫刻、テーマパークの演出など幅広い分野で活躍中。

*** アドバイザーから一言 ***
ベランダをミニ菜園にするリフォームは夢のある作業です。スノコは誰にも親しみのある素材なので、失敗を恐れず気楽に取り組んでみましょう。



Before

既製品のスノコにペイント ポイントは塗料選び

ベランダサイズを測ってスノコの枚数を出しましょう。市販のスノコの素材には、スギ、ヒノキ、キリ、SPF材などいろいろありますが、ペイントするためにはSPF材が適しています。ここで重要なのが塗料選び。ベランダ園芸のための塗装は、ただカラーを楽しむだけでなく、水や土を使うので耐久性に富んだものを選ぶこと。木材の中までしっかりと浸透し防腐、防虫効果が長期間持続する塗料・キシラデコールがおすすです。プロの間では良く知られた塗料ですが、素人にも使いやすい。他の塗料と変わらないので、一度使った人は使いやすいと品質の高さでファンが増えています。ペイントのいいところは、好きなカラーを何色でも混ぜて、好みの色が無限に近く作りだせること。今回のリフォームで、アドバイザーの磨田さんは、余ったスノコでプランターカバーを作り、タンネングリーンにペイントしてしまいました。さあ、スノコと塗料をそろえて、あなたもさっそくトライしてみませんか。この冬はベランダでおうち野菜が収穫できればうれしいですね。

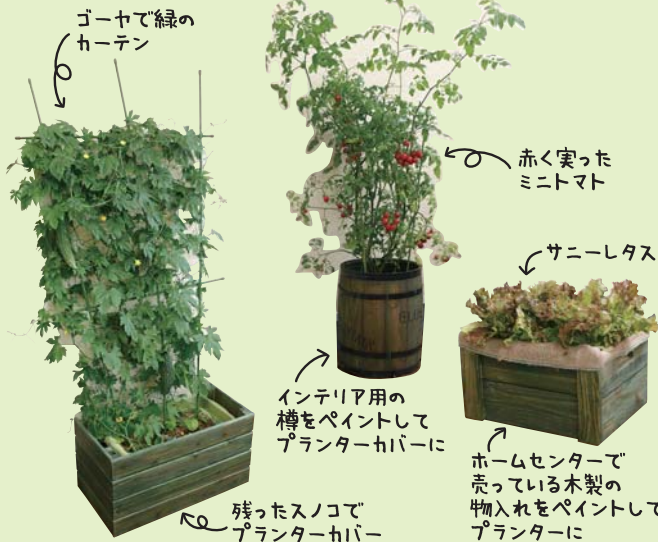
「スノコ」を床にも壁にも活用



木製スノコにペイントする際、コテバケを使うと広い面積でもラクに塗装できます。

既製品で売られている「スノコ」の素材にはスギ、ヒノキ、キリ、SPF材など種類があります。ペイントするにはSPF材が適しています。

プランターカバーも木製にペイント



フェンス用固定金具
壁面のスノコを手すり本体にしっかりと固定するため、フェンス用固定金具で手すりと同様に、横木にスノコを取り付けます。



壁面のスノコの塗料は、ワイスにパリスダを少量混ぜた色。手すりの本体に取り付けた横木に壁用のスノコを木ネジで固定します。

4年連続
'09
木部保護塗料
部門
1位

屋外木部用 防虫・防腐塗料
キシラデコール

高山の町並み
高品質な木材保護塗料として、日本の名城など重要文化財・公共施設などに多くの使用実績があります。

容量・塗り面積

14ℓ: 46~70㎡	量約 42枚分
7ℓ: 23~35㎡	量約 21枚分
3.4ℓ: 11.2~17㎡	量約 10枚分
1.6ℓ: 5.3~8㎡	量約 5枚分
0.7ℓ: 2.3~3.5㎡	量約 2枚分

豊富なカラーバリエーション(全15色) ※色見本は印刷物ですので、実物とは多少異なります。詳しくは塗装見本を参照ください。

スプルス	ビニー	オリーブ	ウォルナット	パリスダ
カスターニ	チーク	マホガニ	ブルーグレイ	シルバークレイ
エボニ	ジェットブラック	タンネングリーン	ワイス	カラレス(下塗り)

もっと詳しい内容はここから [キシラデコール 家庭用](#)